



富士山演劇鑑賞会

No.269 富士山演劇鑑賞会 会報



4月15日(木)

開場 18:00 開演 18:30

◇ 他団体の例会日程 ◇

清水	4月16日(金)	18:30	沼津・伊豆	4月17日(土)	14:00
静岡	4月22日(木)	18:30			(会場は三島市文化会館)
	4月23日(金)	13:00			

他団体での観劇を希望される方は、事務局までご連絡ください。

富士山演劇鑑賞会 第269回例会 NLT公演

作=Barillet & Gredy(ピエール・バリエ & ジャン=ピエール・グレディ)

翻訳=佐藤 康 演出=鶴山 仁

しあわせの雨傘

Potiche ~飾り壺~

大人のフレンチコメディの傑作！

「雨傘を差しても

心が晴れやかになるわ」

STORY

とある町の、大きな傘工場の経営者夫人シュザン又は、メイドもいる専業主婦。

子育ても終わり、ポエムづくりとジョギングが日課。家事も仕事もしなくて良い、と夫に言われる“お飾りの妻”となっていました。

そんな時、独善的な夫・ロベールが、傘工場のストライキで軟禁状態になってしまう。

そこでシュザン又は従業員に語りかけます。「私はピジョルの妻です。夫は私の経営者みたいなものでした。

ですから、私は皆さんの立場がよくわかります。

ただ皆さんと違うのは、私にはストライキができないということです。」

喝采を受けるシュザン又。

彼女は“お飾り”ではなく素晴らしい実力を持った女性だったのです。そして・・・。



賀来千香子

※ 原題のpotiche (ポティッシュ) とは、(中国や日本の) 大型陶磁器、壺や花瓶などのことだが、転じて(実質的権限のない) 名誉職の人、飾り物という意味もある。

上演時間
2時間30分
(休憩15分含む)

CAST



ロベール・ピジョル (シュザンヌの夫)
井上純一
新婚の頃から浮気癖があり、現在も秘書と“いい仲”になっている。
反面、仕事は猛烈にするが、その情熱が従業員に向くことはなく独善的で横暴な経営者になってしまっている。しかし、弱気になることもあり、人間的には可愛い面もありそう…



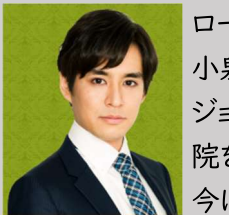
シュザンヌ・ピジョル (ロベールの妻)
賀来千香子
創業者の娘、迎え婿のロベールと結婚して30年。
夫の言うなりに美しく着飾り、家政婦もあてがわれて家事もせず、日課のジョギングと、趣味のポエム作りに勤しむ、まるで「飾り壺」のような日々を送る有閑マダムだが…



モーリス・バン (市長)
永島敏行
この街の市長であり、国会議員でもある。
(フランスは首長と国会議員の兼職が可能)
共産党員で、労働運動に身を投じてきた。この地方での有力な政治家といえる。
シュザンヌとは旧知の仲だが、現在では行き来は全くない。
若い頃はピュジョル社の社員でロベールとは犬猿の仲だった。
彼は恋人は政治というが、実は若い頃には恋もしている…



ナデージュ (ロベールの秘書)
遠野 なぎこ
ピュジョル社長の秘書、彼の愛人でもある。
しかし、それを家族にも見破られているのは、ロベールの脇の甘さだけとはいえないかも。
献身的に社長に尽くすが、社長からは意外に冷めた態度をされることもあり、シュザンヌの魅力に引き込まれていくが…



ローラン (ピジョル家の息子)
小泉駿也
ジョエルの弟。古代文明を研究し今年、大学院を卒業した。
今は求職中。勤め先も決まりそうで、両親に今後のことを打ち明けにパリから帰宅した。
芸術肌でもあり、リベラルな青年である。
母親思いで、今回の騒動では出来るだけ母の助けになるように行動する。ジョエルとは全く違う気性であるが…



ジョエル (ピジョル家の娘)
吉越千帆
シュザンヌとロベールの娘。結婚して幼子がいる。
夫は貴族階級出身なので、ピュジョル家に箔が付いたとロベールは喜んだ。
夫のアルノーは、現在ピュジョル社に勤務しているが、どうも能力は評価されていない様子。
ジョエルは勝気で父親気質を受け継ぐ。
彼女は夫を心から愛している…

『しあわせの雨傘』のオモシロさ

女性の社会進出とか、雇用の機会均等とか、世間でもはやされている平等化、平準化のうねりは、ある意味で、我々の差別意識の根強さを逆証明しているのではないかと思います。『しあわせの雨傘』の女主人公、シュザンヌの痛快な大活躍を喜ぶ我々は、裏目読みをすれば、つまりは弱いものイジメ、差別が大好きなのですね。

しかし考えてみると、人生を、そして芝居を面白くしているのは、やはり人それぞれの多様性のぶつかり合い、あえて言えば差別被差別のエネルギーではないでしょうか。

人間の生命力の根拠は、実は女性にしる、子供にしる、老人にしる、社会的弱者が自らの弱点をてこにして、強者に立ち向かう、そのヴァイタリティーにある。

実はこのあたりが、これからの世界を、我々の未来を考える上で、重要なカギになるのかもしれない、と考えているのですが…

演出 鶴山 仁

『文七元結』感想

◆とても楽しかったです。舞台芸術のむずかしい時代になっていますが、ぜひ素晴らしい日本の文化の継承のために頑張ってください。

◆ていねいに説明を下さったのでよくわかりました。藤娘もとてもステキでした。はらはらしながら観ていましたが最後はホッとする話で良かったと思います。

◆さすが前進座の代表作の一つ『文七元結』。笑いあり、涙あり、人情噺の傑作ですね。正直者が報いられる…実際にはなかなか無いような世知辛い現在だけど、夢のある話に救われました。

◆江戸っ子のきつぷの良さが気持ちよかったです。めでたしめでたし。更に気分よく帰れます。

◆解り易い解説で歌舞伎がぐっと身近になりました。人情物も楽しかったです。今の時代ならいなくなってしまうような義理人情に厚い人、親孝行な娘、身分も何もないけどハッピーエンドで…どこかにそんな良い話しないかなー

◆「歌舞伎の楽しさ」では、太鼓の音を変えらることで表現する事、情景が表されることを改めて知り、俳優（役者）との連携があつて芝居が仕上がつていることがすばらしいと思いました。あらずじが単純なものとは人情味あふれる舞台にできる歌舞伎の奥深さ

を感じました。

◆新春最初の例会、良かったです。

◆歌舞伎の説明がわかりやすく楽しかったです。聞きとりやすいせりふまわしでも感動しました。楽しい時間をありがとうございました。

◆解説が分かり易く歌舞伎への理解を深めることができました。前進座の役者さんは家柄に関係なく精進していることと思いますが、藤娘の役者さんは旨いですね。どれくらい修業したのでしょうか？

◆カブキはなかなか見る機会はありませんでしたが、今夜の前進座の劇、すばらしい人情味あふれ、大変良かったです。女形 すばらしい 見とれました。皆さんの一流の姿、さすがでした。

◆とても久しぶりに日本舞踊を見させていただきました。

◆本当に美しく、女性よりも女性らしい女形の玉浦さんの表情やしぐさなどにうっとりしてしまいました。

◆お芝居も楽しく、舞台の早かわりに驚いたりきれいなお店と貧乏家のちがいの、隅田川の川辺、鳴り物あり、ぐんぐんお芝居に引き込まれました。ぼろは着ても心は錦 人情話に心がほっこりしました。

◆初めに歌舞伎の楽しさを教えていただいたので女形の所作など楽しく見ることができました。生で観るのは迫力もあり楽しいです。

◆泣けました。大変良かったです。

◆カブキのあとのこの「間」はなんだ!?

◆次の幕間も舞台装置の工作の音が気になった。2場、3場、4場とかわつて行く間に芝居に引き込まれて気にならなくなった。こういう演出？の仕方もあるのだと知ったが…

◆初心者としては、なぜ冒頭に歌舞伎の解説があるのか、この芝居なり、前進座との関係などを、加えて解説してほしい。とは言え、十分楽しませていただきました。

◆人情話でよくある設定だが、本当にそんな状況で金を渡すことができるだろうか？

◆退職を機にこの会を知り入会。初めての鑑賞会を楽しみにしておりました。歌舞伎の鳴り物の説明など、又立ち回りなど、見る際にも参考になりました。有難かったです。人情味あふれる泣き笑い。とても楽しく観ることができました。ありがとうございました。

◆歌舞伎の楽しみ方…判りやすく良かった。効果音の使い方殺陣などの迫力が全然違い、欠かせない音響と、感心した。

◆命の大切さ。今の菅さんに聞かせたい。軍費より人の命を考えてほしいですね。

◆今回の会報に「全国の鑑賞団体では、どこからもコロナ感染者が出ていません」とあり、安心しました。皆さん一人一人の努力の成果だと思えます。劇はもちろん楽しみにしています。

◆ですが、仲間に見えるのも楽しみにしています。

◆事前説明してくださり、とても良かったです。笑って泣かされました。幸せを頂きました。コロナに負けずに元気で頑張りましょう。

◆前半の「歌舞伎の楽しさ」は勉強になりました。踊りは手足の動きや表情が美しかったです。(でもちよつと眠くなりました、すいません) 長兵衛さんが「古田さん」に見えて仕方がなかったですが、物語の中に引き込まれました。(場面転換が大変そうでした) 展開が早くてよかったです。

◆私は前進座のお芝居が大好きです。役者さんの美しい立居振舞いや台詞の歯切れの良さはもとより、工夫された舞台セットも楽しみの一つです。場面転換で幕が開くたびにわくわくしていました。4列目の席でお一人お一人の表情、所作、衣装(ぼろの着物もありましたが)がよく見てとれ、熱が伝わってきて感動しました。

◆「わあ、いいぞ！」というところでは、皆さんと一緒に拍手をし、一体感を持つこともできました。「気持ち揺すぶられる」つてこういうことなんだなと思いました。真心にほろつとき、笑いもあり見えたええなつぷりのお芝居、ありがとうございました。皆さんのこれまでの頑張りには涙です。おまけに歌舞伎の見方や藤娘の華やかな踊りも鑑賞できて得した気分です。

幕開きの口上に始まり、太鼓 附け、立ち回りについて要領を得た解説、妖艶な藤首頭、そして笑いあり涙ありの『文七元結』。2時間30分の上演時間内に、歌舞伎の魅力が凝縮されています。『文七元結』は、名もない善意の人々が人間社会を支えていることを実感できる好演でした。帰宅する車中で、謙虚に芝居を見続けることも、人間社会を存続させていく重要な行為だと思ひ至りました。

運営担当の声感想

随分前の例会でも前進座の『文七元結』を観ました。内容の記憶が定かではなく、今回見せていただいた、なるほどこういう話だったのか、と感心していたところです。出てくる人がみんな「いい人」で、どうしようもないと思った長兵衛もやはり「いい父」だったなあと。さすが人情斬ですね。時間は短くても、こういうものをもっと観たいです。「歌舞伎の楽しみ」の方も、とても勉強になり、興味深かったです。

(S-1)

新型コロナウイルス感染で仕事や日常生活などが、制約されるばかりでなく、不安や恐怖を感じる私たちにとって今回の『文七元結』は気持ちと和らぐタイムリーな演目でした。登場人物に目を向けると娘のお久さんの道徳読本に描かれるような健全な心がけや、遊女屋のおかみさんの

きつぷの良さ、和泉屋手代の実直さ、主人の思いやり、もちろん左官屋長兵衛さんのいきな計らいなどは、私たちが忘れかけていたことを思い出させてくれたと思います。今回も観劇の良さに魅了されました。次回も楽しみます。

(左団次)

歌舞伎の口上から始まり、初めての人でも歌舞伎を楽しんでもらえるように、拍子木の鳴らし方や太鼓の音一つで色々な場面を表現ができることなど、本当に事細かに説明していただきました。透き通った歯切れのよい口調に、流れるような言葉は実に染み入るものでした。また、踊りは女性を表現する工夫も見せていただき、藤娘の舞踊に釘付けになっていました。そして、『文七元結』。家に帰ると娘がいなくて大騒ぎ。そんな娘が吉原に行ったことを知ると脇目もふらず行こうとするが、着ていく物が無い。妻の着物に借り物の羽織での姿はちよつと滑稽。五十両という大金を手にして借金を返すつもりが、身投げする人に出会い後に引けない。自分にとって大事なお金、でも他人様の事を見逃す訳にはいかない。人の命は金じゃ買えないと、自分が困ることは百も承知で五十両を渡してしまう。家に帰って話しても信じてもらえない。ところが身投げするところを助けられた人が御礼に来た上、娘を身受けし嫁にもらい

たいと。思わずホロツとさせられる場面でした。人情味あふれる言葉のやりとりや振る舞いになぜか心温まる素敵なお劇でした。

(あじさい)

富士宮からロゼシアター6時半はなかなか厳しい。場内アナウンス終了と同時に着席。「歌舞伎の楽しさ」として、萌黄・柿・黒の定式幕。今流行の「鬼滅の刃」だったら萌黄・黄・黒ですねと、紋付き袴姿の胸元から黒と緑の格子柄のハンカチを出してくれました。立ち回りの型の実演。女形の立ち居振る舞いも若い娘から、年増、大年増と三十秒で、女の一生として自分を差す手の位置での解説。長唄「藤娘」の一番有名な「藤首頭」の一幕を、美しい衣装で、女形の舞は美しい。『文七元結』は人気演目で歌舞伎座でも見ているので、おのずと女形なら美貌、立役ならば無駄のない筋肉、あらわな脛に目が行く。女房お兼役の早瀬栄之丞のつぎはぎの着物を夫に強引に脱がされ、つぎはぎの肌襦袢の細い肩、薄い胸は女がみても、ぞくつとした。遊女屋の女主人お駒、和泉屋清兵衛、鳶頭伊兵衛が役得ではあるが、粋でよかったです。

(左団次)

歌舞伎のことがわかり良かったです。長兵衛の江戸っ子気質「そこまでするの？」と男の見栄？感じましたが、ささやかに暮らしている人達にとつ

ては心の支えなのかな。世話物は最後ハッピーエンドになるので、安心して観られました。

(華の会)

変化のある舞台、とても楽しく観せてもらいました。親のために自分の身を売るなどとは現在では考えられない事なのに、何だか納得できないでいました。でも、少し出演者が善人過ぎていた様な。少しは悪人が出てきても良いのでは。

(ヤングムーン)

コロナの中、様々な対策をとって迎えて下さり感謝します。前進座のお芝居はいつも丁寧な時代考証や美術衣装と共に磨き抜かれた芸と情緒を感じます。江戸情緒ただよう書き割りも楽しみです。ともすればぎすぎすがちな今の世の中に、思いやりがそこそこにあふれていて貧しい生活の中にもユーモアこぼれるお芝居に心洗われました。こんな時こそ、文化の灯をともし続けていけたらいいですね。

(フレンズ)

日本人ならではの人情味あふれた内容で、悪人も出てこず、気持ちよかったです。役者さん達もとても芸達者で、ぐいぐいとお芝居に引き込まれました。最初に歌舞伎の所作や効果音などの説明をして頂いたのにより良く舞台が理解できて楽しめました。

(チェリーヒル)

● このところ満たされない日が続いている中で、今回の例会はとても楽しみでした。まず、歌舞伎の楽しさ、何となく各々の音の意味、効果は分かっていたつもりでしたが、歌舞伎音楽の素晴らしさ、見事さに思わずなるほど！フーン！そのように聞こえる！と納得できとても楽しく観ることができました。加えて踊りはさらに目の保養になりました。とてもよかったですとサークルの人たちの声でした。お正月がやっとなって、お正月気分を味わえたような嬉しい気持ちで満たされました。日本語の良さ、ゆっくり話すセリフが高齢者には分かりやすく聞きやすいのも、プラスチックがもつと増えてたらいいねーとの声もありました。(ドン)

● 歌舞伎というと、少しとつきにくいイメージを持ちがちですが、今回は世話物で落語がベースであることもあり、とても分かり易く楽しい演目でした。主人公の長兵衛とお兼夫婦のやりとりが、何とも可愛らしくいじらしく江戸時代の庶民の代表のような二人。そんな二人の運命が最後は好転することが分かっていながら、応援してしまう。90年という歴史と伝統に支えられた表現力と若い役者さんたちも交えたフレッシュなエネルギーを堪能した2時間でした。少し耳の遠くなった主人にも十分台詞が届いて楽しめたという感想

● に、隣にいて胸をなでおろしました。(茶色の小びん)

● 江戸っ子気質がわかる、笑いに満ちたハッピーエンドが何とも心地よい人情もの芝居ですね。落語と違ってお芝居には視覚的な楽しさがあります。役者さんの言葉遣いだけでなく、着物の柄や着方、立ち居振る舞い、身分の違い、住環境、生活様式などが一瞬で分かるところがいいですね。背景も工夫されていてあつという間の場面転開もあつぱれでした。さりげなく聞こえる音も場面を盛り上げています。タイトル『文七元結』の意味が最後に分かることは落語の由来ですかね。それから、「歌舞伎の楽しさ」女形の体の使い方や拍子木の「斥」の数の意味など興味深く観させていただきました。また、佐野槌主人お駒さん役が、急逝された今村文美さんの旦那様の山崎辰三郎さん、主役の長兵衛の藤川矢之助さんがお兄さんだそうで悲しみを乗り越えての舞台、感慨深かったです。一番心を打たれたのは役者さんが指の先から首の傾け方、発声、諸々鍛錬されて役を作り上げていき、その「苦労が舞台で集大成され、それに衣装や大道具、小道具などを作りあげて音を立ててお芝居が披露される。そんな背景を考えながら拝見しますと、感動いたしました。コロナで役者さんも「披露の機会が減り、たいへんだ」と思いますが、私たちにいつまでも

● 感動を届けていたきたいと切に願っています。「江戸っ子を」調べてみましたら「世話好き、博打好き、ものごとこだわらず、金離れがよく、正義感が強い」また、「喧嘩早く、軽率」となっていました。江戸っ子の反対の田舎者は「野暮」だそうです、さしずめ私はどう頑張っても野暮ですが、これからは心だけでも粹でいたいなあと思いました。素敵なお芝居をありがとうございました。(すうのいえ1・2)

運営サークル活動に参加して

● コロナ禍にあり、とにかく無事に例会ができてよかったです。年に一度の担当ですが、クリア活動に真剣に取り組みました、しかしこの時期はなかなか誘えないと悩みました。当日の仕事も担当の皆が一生懸命にやり、やっぱり観劇することが楽しみであり、好きなんだと改めて感じました。(ヤングムーン)

● 当日の担当は誘導係でした。ボードを持ちドアのところ立っていて、人数が減ってことを実感しました。搬入がなくて楽でしたが、劇団と鑑賞会の一体感としてはちよつと残念に思います。ロゼの座れない席「X」に戸惑う様子が多く見られ、しばらくはそのご案内をしました。コロナ禍の『煙が目染みる』で2名増やしたのに、担当の時に増やせません

● でした。こんな時だから東京に行かなくても見られることをアピールしましたが、夜の運転がやはりネック。声掛けしたけれどみな断られてしまいました。(チエリーヒル)

● 富士宮からの参加、活動は中々大変だと実感しました。少なくなった仲間を減らさないことを目標に、伝えるべきことはしっかりと、理解を得て声掛けお誘いをしました。まだ会員増には進めそうにありません、じっくり諦めない気持ちを持ち続けていこうと思います。当日は役員のてきばきした動きに学び、楽しく参加させていただきました。(ドン)

● 富士宮から仲間に入れていただき始めて運営サークルに参加させていただきました。心が折れそうな時に時期に、大変変だけれど前向きに取り組んでいこうと、代表、事務局長のお二人、新しい仲間との触れ合いに勇気をいただきました。身近なところに何か所か、ポスターを張っていただけました。目にとめてくれる方々もいて鑑賞会を紹介するチャンネルにもありました。真新しいリーフレットも会った方々に手渡しました。「こんな時だからこそ、市民劇場でお芝居を観劇して心を潤そう!!」を合言葉に。結果はすぐに出なくても種まきをしていこうと改めて決意しました。(茶色の小びん)

落語でお馴染み、三遊亭円朝の人情話を芝居にした、笑いと涙にあふれた素晴らしい作品を多くの人に観てもらおうと活動しました。しかし、活動中に新型コロナウイルスの感染者が多くなり、ついに二度目の緊急事態宣言が出され活動に制限がかかりました。そしてもう一つ、この作品を最後に昼・夜2ステージで観劇してきたものが1ステージになってしまったこともあり、声かけの後のもう一押しに今までよりも力を出し切れません。

運営サークルの集いでは作品について話し合い、また前進座のこれまでの作品について感想を語り合いました。そしてこの作品が新しく会員になった方にも必ず楽しんでもらえるものなので、地道に声かけをしましょうと確認し合いました。

また前進座よりコロナ対策についての文章が届きました。その内容は、このコロナ禍で劇場に多くの人が集まって大丈夫かと不安を持っている会員の友達や、心配で入会を躊躇している人には劇団の決意が伝わる力強いものでした。劇団は、稽古場から感染予防を徹底しており入退室時に検温し、体調不良者は原因が確認できるまで他の座員と接触しないなどを公演中も続けること。搬入・搬出も劇団だけで行い、顔合わせも中止になりました。

この文章を読み終わったとき、劇団の人達の公演に対する強い思いがひしひしと伝わり、この思いに我々も答えなければとなりました。「劇場は安心だ！」を声かけの中に入れることにしました。

なかなか入会者が増えませんでした。最後まであきらめず一人でも多くを目指して声かけを続けました。そして六名の仲間が増えました。

今回は、終演後の退場時の密集を避けるために分散退場をお願いしていました。初めてでしたが混乱もなく協力していただけました。ありがとうございました。

まとめでは、落語が元の芝居なので、楽しめたと言っ意見が多く出ました。

また併演の「歌舞伎の楽しさ」で、所作の説明が為になった、もっと前に知りたかったなどの声も出ました。

サークル数	84
サークル増	0
サークル減	2
±	-2
会員総数	494
入会	6(1.1%)
退会	41(7.7%)
±	-35
例会参加率	79.8%

運営担当サークル	あじさい	富士子ども劇場	吉原工業	YOUNG MOON	華の会	フレンズ	さくらんぼ	Cherry hill	あじさい
すうのいえ	すうのいえ2	ドン	ミッキー	茶色の小瓶	S-1	左団次	まゆみ	バラティエ	サヴァ

2022年

静岡県統一レパートリーが決定しました。

例年は、7月にサークル代表者会議を開いていました。その折、県統一レパートリー作品の紹介をしていましたが、新型コロナウイルス禍の影響で、企画自体の計画も遅れ、説明会もやれませんでした。

「文七元結」のシール配券の際に皆さん企画資料集を配布し、サークルで話し合っって幹事会提案に対して、賛成かどうかのアンケートを例会日までに出していただきました。

そのアンケート集約の結果を各団体が持ち寄り、2月21日の県の幹事会提案で正式に決定となりました。

2022年度も魅力ある作品が並びました。

2022年3月～4月	2022年5月～6月
劇団民藝 「グレイクリスマス」 作……斎藤憐 演出…丹野郁弓 	青年劇場 「あの夏の絵」 作・演出…福山啓子 
2022年7月～8月	2022年9月～10月
劇団文化座 「しゃぼん玉」 原作…乃南アサ 演出…西川信廣 	ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ ミュージカル「てだのふあ」 原作…灰谷健次郎「太陽の子」 演出…鵜山 仁 
2022年11月～12月	2023年1月～2月
劇団俳優座 「雉はじめて鳴く」 作……横山拓也 演出…眞鍋卓嗣 	エイコーン 「愛の賛歌ーピアフ」 原作…エディット・ピアフ 脚色・演出…加来英治 

次例会のおしらせ

No.270 例会

2021年 7月 22日(木)

ロゼシアター大ホール

開場 18:00 開演 18:30

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ アルレッキーノ

原作 / カルロ・ゴルドーニ (田之倉稔 訳による)

台本・演出/加藤 直

作曲/萩 京子

出演/こんにゃく座一同



【あらすじ】

ここは、ヴェネツィア。

クラリーチェは、恋人シルヴィオと結婚間近。

だが、死んだはずの婚約者フェデリーゴが現れる。
ところがこの男は、恋人フロリンドを追ってやってきた、
なんと！男装した妹のベアトリーチェだった。

すれ違いばかりで、なかなか出会えない
ベアトリーチェとフロリンド。

ひよんなことでこの二人の召使となった
道化のお調子者アルレッキーノ。

二人の主人に同時に仕えれば、給料も食事も2倍！
と、うまいこと立ち回っていたのだが・・・、
次第にボロがでて、てんやわんやの大騒ぎ！！



— 2021年度 富士山演劇鑑賞会総会 —

- ◆ 21年度は、2月からスタートしました。
- ◆ 21年度も厳しい状況が続くと思われませんが、生の舞台の素晴らしさ、劇場で仲間と空間を共有することの魅力をも再認識し、21年度の活動方針について、協議します。
- ◆ 日時 4月4日(日) 13:30~
- ◆ 場所 富士川ふれあいホール 多目的室

重要なお知らせ

- ・会費納入 4月会費 3月25日(木)~4月 6日(火)
5月会費 4月27日(火)~5月12日(水)
- ・退会締切 4月23日(金)
- ・シール配券 『オペラアルレッキーノ』
6月29日(火)~7月 7日(水)
- ・事務局休み 4月29日(木)~5月5日(水)

- ★ 例会翌日は、事務局は休みです。
- ★ 毎月の会費納入は、基本的には 月末の25日~月初め5日 です。
※例会等の関係で変更になることがあります。
- ★ 例会運営サークルの集いの日程は、担当のサークルリーダーにお知らせします。

- ★ 退会する場合は、退会締切り日までに手帳裏表紙の退会届に必要事項を記入の上、事務局へ提出して下さい。
※電話やFAX、郵送での退会受付はできません。
※入会1年未満の方と退会締切り日後の退会は認められません。ご了承ください。

【事務局からのお願い】

不要になったハガキや切手がございましたら、例会会場、または、事務所にお持ちいただけると大変助かります。それぞれ未使用であればどんなに古いものでも結構です。

富士山演劇鑑賞会

富士市元町 12-26 田中ビル 101号

TEL 0545-63-9201 FAX 0545-62-1687

Eメール fj_simingekijou@ab.thn.ne.jp

http://web.thn.jp/ fj_simingekijou/

ホームページ [富士山演劇鑑賞会] で **検索**

観劇のマナーを守って 楽しく「かんげき」しましょう

- ・携帯電話の電源は切りましょう
- ・開幕前は静かに待ちましょう
- ・お話は上演終了後にゆっくりと
- ・客席での飲食はできません